

幼 兒 教 育

第 十 九 卷 第 五 號

大 正 八 年 五 月 一 日 發 行

目 次

子供の論理と正義……………下田次郎

我が子を小學校に送りて……………平田静子

「キンダーガルテン」と云ふ名は改むべきか……………紹介子

富士見行……………竹村一

表情遊戲……………土川五郎

五月の園藝……………有川ひさえ

各地保育界の状況……………各地保育會

スタンレーホールの教育意見……………谷本富

日 本 幼 稚 園 協 會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前は初め御入會の時の御名前と御同一になし下され度く、假令ば初め幼稚園名にて御入會、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様必ず願上候整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに亘り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

本誌定價

一冊 郵稅共金拾六錢 六冊前金郵稅共九拾錢
拾二冊同金壹圓八拾錢 郵券代用一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正八年四月廿八日印刷納本
大正八年五月一日發行

東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四
編輯兼發行者 倉 橋 惣 三

印刷者 東京市本所區番場町四番地 功

印刷所 東京市本所區番場町四番地
凸版印刷株式會社本所分工場

發行所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
日本幼稚園協會

日本幼稚園協會總會

一、五月十七日(第三土曜日)午後一時半より

二、東京女子高等師範學校講堂に於て

一、開會の辭

二、會務報告

三、講 演

歐米の幼稚園に就て

東京女子高等
師範學校教授

藤 井 利 譽君

題 未 定

文學博士

瀧 精 一君

四、茶菓懇談

○講演は會員以外も來聽隨意

五 月

日本幼稚園協會

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

コドモ

編輯顧問 高嶋平三郎先生

幼垂
雜誌

良友

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

發行所 東京市小石川區 七十五番地 株式会社 電話 二六二 一八九二 八二

幼兒教育

第十九卷
第五號

大正八年五月一日發行

子供の理論と正義

東京女子高等師範學校教授

下田次郎

○子供の頭腦は理論的

子供の頭腦あたまは非常に理論的なものである。理屈のあはない事は大嫌である。それで、大人が云つたり行つたりする事が以前のそれと理屈があはないとそれを、訝りとがめる事がある。所が、大人は、社會生活、殊に日本の非論理的な社會生活に馴れて來て居るから、子供の前でも無意識に條道すじみちの徹底しない、前後矛盾の事をして願す、反つて子供にとがめられて、氣のつく様な事がある。それで大人は、常にこの點に注意して子供に對しては成るべく、論理的に云つたり、行つたりする様

にしたいと思ふのである。

○先づ國語の改良を

一體日本人の頭腦あたまが非論理的であるのは第一に國語の性質が與つて最も力があると思ふ。日本語は例外が非常に多く、音おんでも訓くんでも、意味でも種々で論理的に律する事の出来ないものが非常に多い。日本語は到底、科學語として適當なものではない、これを佛語、獨乙語などと比すれば非常にルーズなものである、かゝる言葉を大人が話して居りそれを子供が困難しながらもならつて話すので、折角子供に生れついた論理的の頭が一つは國

語のために、こわされてしまふのである。それで日本人の頭腦を論理的にするには國語の改良をはかつて、一層簡單にし、統一されたものとする必要がある。

今日の狀態では、子供の折角の持つて生れた論理的頭腦を大人が小さい時からこはして行く様なものである。

○おやつの分配は

次に子供は正義の念のつよいもので、公平と云ふ事を望むものである。それで大人の仕打に偏頗不公平があると非常に憤慨する。例へば菓子にしても兄弟の一人が貰へば、他のものがそれと同じものを同じほど貰ふ事を待ち設ける、それで、おやつをやるにしても余程分配法に注意せねばならず、土産を買つて来るにもよく考へねばならぬ、違つたものをそれ〴〵に買つて来ると、その間に價値の差等をおいて、折角やつても不平を云ふ事

があるから、時には、三人なら三人の子に同じものを三通り買つて来る方がよい事がある、尤も、少し大きくなれば、年齢、男女の相違に由つて、區別を是認する様になるが、初めは、そうは行かない。それで大人はこの子供の正義の念をつよめ養ふ事を努めねばならぬ。

大人は、社會生活をする中に何時の間にか情實にとらはれ、不公平な事をして顧みない様な事になつて居る事がある。子供の方が余程正義とか公平とか云ふ事については敏感であるから、大人は折角のそれを鈍らさない様に自らそれを實行して見せ、また、子供の行爲を、常に、かくあらしむる様に仕向ける必要があると思ふ。

○教育は子供を損はぬ様

教育と云へば通例大人の方が上で既に出来上つて居るから、下のまだ出来上つてゐない子供を大人の標準に引き上げるものの様に考へてゐるが、

時には子供が大人より反つて上で、大人の様になつては困る、寧ろ子供の持つて居るものを壊さない様にもり立てゝ行く方がよい事もある。思ふに正義の念の如きは、それであらう。

論理的頭腦のごときも教育によつて發達せしむる事は出来るが同時に大人ほどに非論理的部分を多くしたくないと思ふのである。その限りに於ては、また子供の持つて居るものを損ねない事が教育であると云へると思ふのである。

(談話筆記……文責記者)

春の日の入りどころなり藤の花

(一茶)

三尺に

たね織の

お客かな

とつとき

金太郎するや

織かな

我門を

山へ出て見る

織かな

(一茶)

「我が子を小學校に送りて」

子爵令嗣夫人 平 田 靜 子

小學校へ子供を送つての感想をとのお尋ねですが、前に長男を、同じ幼稚園から學習院に、送つた經驗を持つて居ります私は、今度は長男の時のやうに、非常な心配をしないで、次男の正治マサハルを、また同じ幼稚園から學習院に送ることが出來ました。

その爲め、あゝであらうか、斯うであらうかといふやうな、想像をめぐらす必要が尠くて濟みました。従つてとり立てゝお話するやうな新發見もございません。又お話する價值のある感想を述べることが出來ません。

次男正治マサハルに就ては、豫ねて幼稚園の諸先生から性質その他に就て、よく承つて居りましたがその事と、正治の入學試験に就て、學習院主任から話された試験の結果と、あまりよく符合して居るので、私も非常な安心を以て入學の日を待つばかりでございました。

學校に就ても正治に就ても、何といふ事なとに一種の心丈夫と、安堵とを持つことが出來ましたといふことは、諸先生並びに學校に就て、心から感謝いたさねばなりません。

學校へ参りましても、教室が第一わからないで、まご／＼しなければならぬ始めての父兄の方を、今度はまことに御氣の毒に感じました。先生を知り、學校を知るといふことは、どうしても必要であると云ふ經驗を、今日つく／＼味はつたのでございました。

かねてから幼稚園を経て、小學校に入學した子供と、家庭より直に入學した子供との、比較に就いては、いろ／＼考へてゐる事ではありますが、

何を云ふても、數日間の感想でありますし、正治の組ではあの子一人が御茶の水出身で、他は大方學習院の幼稚園から來たもの、其他どなたがどうか、不明な爲に、比較研究をすることが出來ないのは遺憾であります。自分の知つて居る若干名に就いて考察すれば幼稚園から參つた者は、先生の御話を伺ふ時の姿勢が、他と比べて宜しい様で、且つ早く御話を理解する様に見受ます、又先生に早く親しみ、活潑に動いて居る様ではありませんが一面から申せば、其爲に、不注意になり勝な、缺點を持つやうに思ひました。

左に正治の入學の初めにかきつけました日記の一節を何かの御參考にもと存じお目にかけませう。

○入學第一日(四月九日) (母……静子記す)

始めて學校に行く日であるから、途中を氣遣ひ私自身付き添つて、お茶の水から甲武電車に乗つて、四谷で降りました。電車内では少しも私に向

つて話をしかけず、只どんな學校か、かねて兄(カッ巳)より「運動場は第一、第二、第三とある、僕は第一運動場で遊ぶのだが、正治は門の側が遊ぶ處だよ」とか、教室はこんな處だとか、學校に就てあらん限りの話を聞かされて居つたので、今、そのよい學校に行く途中、楽しいやら、心配やらの胸の中はさぞ動悸をうつて居つたことであらう。わざと、自分も一口も話さず。四谷に來たので先に降りれば、後から續いて參り、停車場からは二丁程の學習院初等科の門をはいり、一年西組の教室へ參りました。主幹の二宮先生がやさしいお顔で「さあ、どこでも机に腰をおかけなさい」と云はれた。正治は常に人中にあまり出ないもので、いつも引込み勝ちの子なれば、今日もどうかと案じて居つた處、さつさと自分の手より離れて、空いて居る机に落ち着き拂つてランドを下して腰かけた。もう今日からは、自分は學習院の學生であると、深く覺悟して居つたものと見え、動

作がはきくとして、昨日迄の正治とは思へぬ様であつた。

いよ／＼始業の鐘が鳴つた。先づ背の順をきめられ、ほんとうに席が決まつた。着席の時の姿勢など教へられた。その着席と云ふ言葉は、無論始めて聞いた言葉なのであらうけれど、先生が手つきでお示しになるので、皆が腰をかける。今度は「氣を付け」と云はれると、机の右に立ち、帽子を右の手に持ちて直立する。そのお稽古やらで時間はどう／＼たつてゆく。

ごく／＼眞面目で、正直な正治は、きちんと椅子に腰かけたまゝ、膝に手を載せて長い間のお話を、身動きもせず伺つて居る。その間のお話は、幼稚園とは全然違ひ、ごく簡單明瞭のお言葉で仰有るのであるから、多くの子供には解らないのであらう、中には後を向いたり、口をあけたまゝのもある。窓の外を眺めるのもある。その中で獨りきちんとして居るので、さぞ勞れることであらう

と可哀想になつた。

間に二度休息して三時間目に、今度は唱歌、體操の時間であるから出ませうと、先生が仰有ると待ち兼ねて居た一人の子供は、まだ禮もすまぬうちに自分の周圍の子供を煽動して「さあ、出るんだ、出るんだ」と大きな聲をして騒いだので、全體が急に騒かしくなつた。けれども正治はやはりまだ椅子に腰をかけて濟まして居た。やがて先生に制せられて、やつと一同鎮まり唱歌室へと行つた。こゝでも出入の禮を教へられ、それから體操の先生より、體操に就きての心得、覺悟を説かれそれから色々の道具を見せてあげるがらとて、大きな砂場に行つた。こゝで驚いたのは、先生が使つてもよいと云はれたので、いつの間にか棒登りの、かなり上の方へする／＼と登つてゆく子供がある、他の子はあとの方に登らうとして居る。私は「まあ、あの子はよく身輕に登つて行く」と他の父兄の方とお話をして居つた處、その方が「あ

それは正治さんですよ、まあお上手に」と云はれたので、よく／＼見ると正治であつた。親から見ると、いつ迄も意氣地なく弱虫のやうに見えて居たけれども中々大膽な、勇氣のある子だと非常に驚いた。肋木^{ロツボ}でも、迂り臺でもなか／＼巧妙にする。

先生から「集まれー」の命令が下ると、すぐに走ってくる。こんな風に、參觀して居つても少しも心配なしに、寧ろ非常に嬉しく感じた。歸つてきてからは、流石に勞れたと見え、夕食もそこ／＼にぐつたりと寝てしまつた。翌日二三の方に伺つた所、やはりどのお子も疲勞を覺えられたとの事であつた。

○入學第二日(四月十日) (父……松堂記す)

少し遅れて行つたので、二時間目の體操から觀た。チヨコナンと椅子に腰かけた正治を漸くに見出すことが出來た。絶えず先生の顔を注視して居るのには、微笑まれたのであつたが、お茶の水仲

間では、そんなに小さくもないとばかり思つて居つたのに、流石華族仲間のノッポの仲間入をしては後から三分の一と云ふ小さくには先づ驚かされた。

次の唱歌では、ア、ア、ア、と調子の練習であつたが、先生の眞似をして相圖の手まで揚げて唱ひ出した子が澤山あつた、正治は先づ立派であつた。正治の聲が少し小さいかと思つた。左の手を平らにさし出して、右手をその手に重ね、拍子をうちながら、ビヤノに合はせると先生が云はれたが、いつか右手を下にしたり、兩手を眞直にして叩いて居る子供もかなり澤山あつた。正治はよく守れた。お退けとなつたが、ランドの草紐が背にかゝらないで苦しんで居る。とう／＼先生が懸けて下さつた。

家に歸つてから、「なせお父様の教へた通りにランドをかけない」と聞くと、「先生が斯う懸けると皆にお教へになつた」と云ふので、「それは斯う懸

けるとよく懸かるからと教へて下さつたのだが、お前のやうな腕の短かいものは、お父様の教へた様にして懸けなさい」と教へてやつた。その翌日は「お父様の教へた様にして一番先に出来た」と喜んで居た。是非とも先生の通りにしなければならぬと云ふ心はよい、併しかね、幼稚園の先生も心配して下さつたこの子の我を通して行くと云ふ心、それがこんな事の注意不注意から將來の原因をなすのではあるまいか。今の處、學校は正治にとつて面白い處と思つて居るらしい。すべてに就て一生懸命である。自分自身はする事なす事心配で堪らないらしく思はれる。それを思ふと小さな机の前から二列目の右端にキチンとして動かない次男正治を見出した瞬間、よくあゝして座つて居てくれるかと思ふと、いぢらしさ可愛さ今にも馳け寄つて頭を撫で、やりたいやうな氣がする。この子の修了半ばにして幼稚園を去られた○先生にこのやうな處をお目にかけたら、どんな

にか喜ばれることであらう。

正治は今迄とても、嬉しい事があつても餘程の場合でない顔に現はさない子供であつたが、學習院に行つてからもやはりそうである。洋服屋が假縫を仕立て、着せても、たいニヤリ／＼として居る、小さな學習院生徒の新米として濟まして居た。いよ／＼入學許可が來てから、自分は兄に隨いて學習院（今迄は兄の學校姿が羨ましかつた、ランドを背負ふと云ふ事が殊にしたくてならなかつた。今迄幼稚園の仲間が三角帽を被つて居るので、好んで三角帽を被つて居たが、お前は附屬の方が好きだから附屬に入れやうか、それとも學習院かと聞くと、學習院がよいと云ふて居た）に行くのだと云ふ氣になつた。つひ昨日迄は厭だ／＼と云つて逃げて居た正治が、一心に繪をかく、手工の色紙を張り出した。

學校が始まつてから我々に話をする時は、そんな大きな聲もしないのであるが、算術の答などは

大きな聲を出すので、尠なからずこちらが面喰らつた。(尤も大きな聲で、お答をしろとは教へて置いた) 學校から歸つて來て、あれはよかつたと褒めてやると、只ニヤリ／＼と笑つて居る、あそこは斯うしなければならぬと教へてやると、翌日は必らずその通りする。今では多少の安心を以て正治の一舉一動に興味の眼を投げ居る様になつた。

(談話筆記……文責記者)

○日本幼稚園協會總會

別項豫告の如く本會は來る五月十七日(第三土曜日)午後一時半より東京女子高等師範學校講堂に於て總會を開きます

尙其節最近歸朝されし藤井教授の歐米視察談及び東京帝國大學文科大學に於て美術史を教授せらるゝ瀧博士の藝術上の御講演も有之筈に付多數友人お誘ひ合せ御來聽を歡迎致します

田中ふさ子女史送別會

東京市幼稚園關係者有志發起のもとに、女史の送別會は四月十二日午後一時より小石川植物園に於て開かれました餘興講談に次いで、笹野豐美氏の開會の辭があり續いて、土川、多田、山下、千葉、倉橋、諸氏の演説があり、田中女史の答辭終つて、一同會食を共に致しました。

この日、會するもの、百二三十名。女史が我が保育界に致せる功勞の多大なる事は、右諸氏の演説の中にもあきらかでありましたが、尙、この宴のかくまで盛會であつた事によつて一層女史の徳をしのぶ事が出來ると思ひます。

折柄の春雨に、庭の新緑は煙りて一際景色をそへました。名残りなとめて會を開きましたのは午後六時近くでした。

「キンダーガルテン」と云ふ名は改むべきか

紹介子

最近、米國各州に於て「キンダーガルテン」と云ふ名稱を改めやうと云ふ論が盛に起つて居ります、其起因は、勿論、今次の大戦以來、米國の獨逸に對する敵愾心が極度に燃えたためで、「獨逸製」と云ふ商標が其市場から排斥されたのは云ふ迄もなく遂には少しでも獨逸流の名稱は之を改めればならぬと叫ぶ様になり、此波動は、やがて靜かな「子供の樂園」に迄及んで來たのであります。昨年十二月號以來、「ザ、キンダーガルテン、アンド、フアストグレード」誌上に於て引つ

きこの議論が戦はされてゐます、これによつて幼稚園教育に對する種々の意見も窺はれ、また、幼稚園と云ふ名稱に拘泥しない自由な氣分も味はれますのでその概略を紹介致します。

『「キンダーガルテン」と云ふ名を改むべきか』と云ふ問題は、米國に於て現今かなり廣い範圍に迄、及ぼし既に單獨に名をかへてしまつた所もある位で彼の國の幼兒教育界にとつて餘程重大な問題になつて居る様です。

一説がまた一説を生みなか／＼議論に花が咲い

てゐます、最近着同誌三月號までの所ではまだ何れとも結末がついて居りません。

論旨の大體をわけて「改革說」——（「キンダーガルテン」と云ふ名は是非、改めなければならぬ）——と「保守說」——（改める必要は少しもない）——となります。

一、改革說

この方面の論者は、かのコロンビヤ大學のヒル氏を初めとしポストンのアブロン氏、シカゴのテンブル氏、バサデナ州のムツキー氏其他であります。

ヒル氏が最初に同誌十二月號に意見を發表し、テンブル氏は同二月號に於て全然ヒル氏に賛成して居ります。

○改革派の論旨

この派の人々の論ずる所は

(一)「キンダーガルテン」と云ふ名を初めてつけたフレーベルは、其の教育意見に於て既に時のプロシヤ政府と相容れざるものであつた。即ち、彼の有せる自由思想は、獨逸の思想ではなく彼は事實に於て我等米國民の理想とする民本主義デモクラシーを標榜したのである。すでにその當初に於て階級主義、軍國主義の獨逸にそむいて起つたこの教育事業であるが故に、我々は何も獨逸語を以て之を呼ぶ何等の理由を認めない。

(二) 今や學齡期前の教育は、一般に其の必要を認められ、しかも小學校教育と密接の關係を有するに到つた。實際幼稚園教育は公民教育(小學校教育)を完成するための重要な一部分をなすものである、ことに、心理學及兒童學の研究の結果子供の滿四歳より滿八歳に到る間は、其心的發達の一

時期をなして居るもので、この期を分ける事は不合理である事が明らかである。然らばこの當然統轄される筈の教育の時期を、わざ／＼分けて一つを幼稚園とよび、一つを小學校と稱する必要はない。幼稚園と云ふ名あるために、とかく教育と云ふ事から別物扱ひされやすい、故にこの名稱を改めて、小學校教育と離るべからざる關係を有するものであると云ふことを明瞭にする方がよい。と云ふのであります。

○新しき名稱

改革派が「キンダーガルテン」に換ふる名稱を種々呈出して居ります、其の主なるものをあげれば
ベビース、キネット、ノライマリー、サークル、ホームスクール、サフ、ノライマリー、
子供の家、幼學團、家庭學校、初期小學校、
プレ、ノライマリー、プレイスクール、チャイルドガーデン、ジュニア、ノライマリー、
前期小學校、遊戲室、子供の園、初等小學校、
プレ、ノライマリー、ノライマリー、
豫備小學校。

○新しき名稱に於ける諸論

「キンダー、ガルテン」を改稱すべしとする人々

の間に扱、新しい名稱を選ぶとすると此處にまた議論百出の有様であります、「初等小學校」の名稱を主張するヒル氏は、「初期小學校」、「前期小學校」を評して「一體サブ、とは下方を意味するのでサブ、マリンなどと云へば見えない所で仕事をする何だか不愉快な感を伴ふ、又フレは以前と云ふ意味で即ち學校以前の生活になつてしまつて、「學校生活の一部」の意味がない、もし之を「初等小學校」と云へば如何にも其邊の意味が充分あらはれる」と、前述のごとくテンブル氏はこの説を賛同し、今度の幼稚園協會の年會には是非之を呈出して議決を促したいと迄云つて居ります。

豫備小學校の論者なるオハイオ州のバンヤン氏は三月號の同誌上で「この名稱を用ひればたゞに幼児教育の全般に亘つて之が統一を示すばかりでなく、準備の意味をあらはしてゐる。即ち幼稚園の仕事の一番主なものやはり小學校教育或は廣く種々の教育をうくるに適する基礎をつくる

にある、而して其根本となるものは讀書力で、この養成は單に學習法に依るのみでなく、自由活動の間に子供はしらすゝの中に物の心像を形成しやがては正しい發表をするに至るので幼稚園は實に之が準備の場所とも考へられるのである。」と申して居ります。

二、保守説

前の改革説に反對してこの方面、意氣また實に盛なるものがあります。ヒル氏と同月の誌上にはワシントンのワットキン氏が反體説をとなへ、ついでボストンのフキールロック氏、ミルウオーキシのヴァンデ、ウハルカー氏、スミス氏、マサセツ州のバンデッド氏其他はまた保守説を主張して居ります。

○保守派の論旨

「キンダーガルテン」と云ふ名を保存すべしと主

張するこの派の人々の論ずる所は（一）「キンダーガルテン」と云ふ語はたとひ獨逸から起つたにせよ、其の主義は明らかにかの獨逸主義——階級的軍國的——に反したものであり、既に一八五一年にプロシヤ政府は獨逸全國にある幼稚園の閉鎖を命じたと云ふ事實がある、かくのごとく、其の初めに於て幼稚園精神は獨逸精神と相容れなかつたのである、即ち其根本に於て今世界が主張する民本主義の精神をもつて居るのである、此の立派な精神を標榜せる「キンダーガルテン」を、其の名稱が獨逸的であるからとて、改名しなければならなと云ふ理由はない。一體この運動（改名の主張）は愛國心が誤解されたために起つたものである、我々は飽くまでも、かの獨逸の階級主義、軍國主義の破壊のために戦ふのであるが、而し、獨逸の言葉、獨逸風の名稱のために戦ふのではない、「キンダーガルテン」が獨逸語であるにせよ既に精神に於て我が米國の民本主義であり、且、過去六十

餘年の光榮ある歴史を有する幼稚園事業を今更何を苦んで新しい名稱を選ぶ必要があらうか。

一體民本主義とは、個人の價値を認め、其の有する特長を充分に發揮せしめ、社會に大なる奉仕をなさしめんために努力するにある。これによつて、民族全體が確かな進歩の道を歩む事が出来るのである、しかも一方に個人の自由を許容するのみでなく、他方にまた各々の差別性を利用するにある、即ち教育は、適當の方法によつて此の各自の發展をはかり思想にも行動にも自由を與へ、其の特性を保護する様につとめるべきである、「キンダーガルテン」は學齡期前の教育機關としてこの使命を果さんがために盡力して居るではないか、なすべき事多き今日、單に名稱のために我々の勢力を浪費するのは愚な事である。

我々は「價値」の問題を冷靜に考へなければならぬ、我々は商業上に、政事上に、また教育上に何處迄も、かの誤りたる野蠻なる獨逸の文化に惑

はされない様に用心しなければならぬ。しかし、また、古代獨逸アルド・ジャーニーの創つた文學、美術、音樂等に對する憧憬の心は失ひたくはない、殊に教育家は人種的偏見をすてゝ、世界的でなければならぬ、我々は獨逸と戰つたからと云つて樂聖ワグナーの歌劇オペラや、シルレルの詩や、ゲーテの作を排斥するであらうか。

(二)「キンダーガルテン」と云ふ名稱ほど充分に幼兒教育の意義をあらはして居るものはない、即ち子供は園ガルテンに生ひたつ植物の様なものである、素養ある保母と云ふ庭造りの注意深い保護のもとに、子供と云ふ植物が、最も適當に培はれて出来るだけの成長をなし、花を開き、實を結ぶ其の源をつくるのである。この園ガルテン——「子供の」——と云ふ言葉以外に簡單にして意味深い言葉が英語には見つからない、新しい名稱がいろいろ稱へられて居るが、何れも折角我々が今日迄苦心して眞に園ガルテンの意味を世にしらしめるために努力して來た

この幼兒教育の精神を裏切る様な、其の威嚴を損する様な、又狹義に誤られやすい名稱である。

況んや未だ世界が兒童の權利、其の人格の尊重など夢にも思はず願ふものもなかつた時代に、之を認めこの事業のために其の全生涯を傾倒したる偉人フレーベルが、この「幼稚園」と云ふ名を稱へたのである、初めて之を思ひついた時に彼自身は『靈感』によつて』と叫んで居る、我々はフレーベルの教育意見を眞に了解するとともに彼が残したこの歴史を有する名稱をそのまゝ用ふる事を主張してやまないのである。

(三) 嘗つて米國の各州は幼稚園の設立及維持に關する規則を制定し、又多くの州は保母の資格も定めたのである。今「キンダーガルテン」と云ふ名を用ひないとすれば、これらの規則の上にも、種々の困難が起るであらうし、また、現今米國には、獨立の保母養成所、師範學校、専門學校、大學に附屬した養成所が既に百を超えて居る、こ

の方面を考へても各州思ひ／＼の名稱を用ふる様になれば——現にかへた所もある様であるし「キンダーガルテン」にかはり得る適當な名が一般にみとめられず議論百出の有様の今日に於ては

——實際上困難な事が多くなるに相違ない、内容に於て、我々の喜ぶべき主義を有する「キンダーガルテン」を今更他の名にかへて、よし其處に得る所があるとしても、その改名より生ずるあらゆる方面の煩雜と勞作は其の利益以上に多いであらう。

保守派の論ずる所は大體右の様ですが「キンダーガルテン」と云ふ名を繼續すべしと主張するこの人々はまた前掲の新しい名稱の各々に對して、激しき攻撃の矢をはなつて居ります。

バルデット氏は面白い比喩をあげて改名の主張を笑つてゐます、曰く「私達が先祖から何代とな／＼住みなれた光榮ある歴史を有する我が家、なつかしい其の建物をもし其れを建築した大工の子孫

に罪人が出たからと云つて直ちに取毀すであらうか」と。

○新しい名稱に對する駁論

一、幼稚園ライマリ、サクル……（一）これでは我々の理想と

する幼児教育の精神があらはされて居ない、今迄、切角、教育者の側にも、父兄の側にも理解され、認められて來た幼稚園特有の教育の精神や其教育手段が取り除けられる嫌がある。（フールロック）

（二）プライマリー、サークルと既に改名した一地方の督學官が私に説明して「既に獨逸と戰爭して居る以上、人間教育の出發點に於て兒童が獨逸流の名稱を有する教育の場所に入ると云ふ事は、愛國の精神にも反し、賢明な事でないと思ふ」と云はれた、私は思ふ、米國には、尙、幼稚園に行かない幾多の兒童があるではないか、又獨逸流の姓名を有する家庭もあるではないか、かゝる家庭に生れた子供が、生れるとすぐに其教育の出發點

に於て獨逸流の名を有する家に育つのである。而らば彼等は眞にアメリカ人らしくないと云ひ得るであろうか、試みに、今次の大戦における戦死者の表を見よ、如何に我が忠勇なる戦士の多數が獨逸流の名を持つて居る事であろう。子供が幼稚園に入る時に「キンダーガルテン」と云ふ名は、彼等に何の意味もなさぬ、彼等は各々自分の興味の趣く所に自分の直接の経験に従つて行く、「キンダーガルテン」と云つたとて、又は、外の聞きなれない名をつけたとて、彼等の精神生活にそれが影響するものではない。(ワットキン)

二、初等小學校：ジュニア・ハイ・スクール (一) 幼稚園とジュニア・ハイ・スクール初等小學校と云へば世界の新教育の象徴を以て任ずる我が幼稚園の意味を含んで居ない。もし我々が現今の心理學及兒童學に教へらるゝ所ありとすれば、それは、(A)兒童の有する活力を組織的に統一する事が兒童教育の最初に於てなされねばならぬ事、(B)學習的教育は後廻しになすべきである。と

云ふ事である。

一つの名稱と、其のあらはす内容とは密接なる關係あるもの故、もし、以上の如き名稱が「キンダーガルテン」に換はるとすれば、これまで永い間幼稚園がなして來た運動を裏切つて、再び逆行する事になる。即ち、學習本位の教育が、教育の最初になされると云ふ事情になる、折角其教育精神の鼓吹の實があがり明瞭になつて來た幼稚園事業を、今更名を換へて、内容までも誤り易くするのは決して賢い方法ではない。(ヴァンデワルカー)

(二) 保姆としての教養をうけた人は、其の素養の方面から云つても、慥に特別で彼等の専門は「幼稚園事業」にある。然るに、ヒル氏其他の唱ふるごとく、小學校の一部としてしかも「初等小學校」と云ひ從來の小學校の二三年級位まで連絡して教育し得る様に教養すべしとすれば、すでに「幼稚園」が有する特長は失はれてしまふ。實際、年若

い婦人が、廣い範圍に役立つ様に教養されねばならぬとすれば、他方には確に其の貴き個人性、其の得意とするものが失はれてしまふに違ひない。

これ迄學齡期前の教育の必要に對して世間が有する種々の疑念に打勝ち之をのぞくためには一方ならぬ努力を要した。今や漸く光明の見出さるゝに至りし際に、この愛すべき意味深き名——「キン

ダーガルテン」と云ふ——しかもその創始者によつて與へられたこの名を我等から奪はんとするのであるか。今更新しい名稱のもとにまた出發しな

はす事はあまりに愚な事である。(バルデット)

三、遊戯室^{プレイ・スクール}……(一)少くともこれは遊戯^{プレイ}を教育の一要素と見做して居る點ではよい、けれどもこれが幼稚園の働き、其目的の全體を含んで居るとは考へられない、幼稚園は學齡期前の教育をなすものである事がこれではその意味が表はれない。

一體、遊戯室^{プレイ・スクール}と運動場^{プレイ・グラウンド}との仕事を區別する事は困難である。前者は、兒童の年齢の如何を問

はず、室内で或る組織立つた方法で遊ぶ場所、後者は戸外で、全く自由勝手に遊ぶ場所である。然らば「遊戯室^{プレイ・スクール}」は定つた形式のもとに教育を受け様と努力し得る人々に適當なのである。幼稚園は、何處迄も常に實驗中の状態で定つた形式によらず、新しい方法で仕事をして行かうとするのであるから「遊戯室^{プレイ・スクール}」では全く幼稚園の意味を變へてしまふのである。(ヴァンデワルカー)

(二)「遊戯室^{プレイ・スクール}」では其の意味が誠に不明瞭で誤解されてしまふ。(フキールロツク)

(三)名稱は、なるべく通俗的で、初めて聞く人にもすぐ其意味がわかる様なものがよい。大抵の人は、「遊戯室^{プレイ・スクール}」と聞くと我々が一つの遊戯^{ゲーム}を學ぶ時に就て考へて見ても「模倣^{イミテーション}をする事」と云ふ意味に解してしまふ。これでは、全く幼稚園の意味を壞してしまふ。また、云ふ迄もなく意味が誠に狭い、實際永く我々に親しみのある又意味のよくあらはされる「キンダーガルテン」と云ふ名、其精神は、立派にアメリカ化されてゐる以上これを

このまゝ存続させるがよい。

幼稚園と小學校との提携はます／＼喜ばしい、状態に達し、すでに我々の地方では四才から十才迄の兒童を教育し得る教師を養成し初めたのである、そこで私の考では、この時期に際して一番よい名は兩方をひつくるめて「キンダーガルテン」^{幼稚園}「プライマリー」^{初級}とでも云ひたい様に思ふ、しかしこれはあまり云ひまはしが拙である。我々の欲する名は家庭以外でなされる初等教育（學齡期前後の）のすべてを包含し、且、幼稚園期に於ける發育の盛な自由活動の最も尊重されるべき時期に加ふるに、六才以上の子供（學齡期後）の發達に必要な一層、有目的な活動——このすべてを含む言葉でありたい。教育の一層の進歩とともに、やがて我等の欲するよき名稱が與へられると思ふ。しかし今の場合は、どうしても「キンダーガルテン」以上に成程と思はれる名稱は見出されない。

（ヴィクトリア、ドッブス）

四、家庭學校……（一實にこれは不適當である、

何となればこれは年齢の如何を問はず、兒童の就學中に授けられる有り觸れた教育をあらはすに過ぎぬ。殊にまた學校教育のかはりに家庭に於て授けられる教育の意味にとられやすく、とても「キンダーガルテン」の代りに用ひられる言葉ではない。（ヴァンデワルカー）

五、「子供の家」……少しでも自分を尊重する事を知つて居る子供ならば、かゝる場所に來て教育をうけやうなどは夢にも思はぬであらう。

（フキールロツク）

*

*

*

*

*

前述の様に此論争はまだ結末をつけて居りません、將來如何に開展して行くか實に興味ある問題です、改革派が勝つか保守派が勝つか私共にとつては向岸の火事見物同様の事です、が誌上であらばれた所で察しますと改革派は急進的にどし／＼實行に移さんとし、こゝに保守派が立つて之に反對して居るので此論争は幼稚園關係者の間に止らず大分米國の教育界を動かして居る様であります。

大正八年一月十五、十六、十七日の日割で名古屋市保育會に招かれ『幼兒の身體的教育』と題して幼稚園教育の一面を講義致しました其序に名古屋市及静岡市の幼稚園の若干を參觀致しましたから其感想を此處に記して富士見行と名づけたのであります。――(大正八、一、三〇)――

○名古屋市立第一幼稚園

此處には名古屋市幼稚園の爲に不斷の活動を續ておられる私の敬愛する坪内喜久氏が保母長であります、お隣の小學校長足立氏が園長です。

南向きの暖い園舎で幼兒は百餘名を收容してあります。牧野氏以下六名の保母が今日は鏡餅を開くと云つて子供等と共に各室でお鏡餅の分配や焼いてお汁粉にするなど樂しそうに一個の家庭的集團を作つておられました。

正午過てから律動遊戲を觀ました、指導者が仲

々上手であるし、其上に處々で適宜な懸聲をかけておられるので子供も仲々上手に軽く要點にかなつた動作が行はれました。

自分は常に斯ふ思つておる「律動遊戲そのものの音律が身體の各筋肉なり骨なりとしつくり合つて行くものであらうか、換言すれば律動遊戲の曲のりすむと身體的方面のリズムとははたして全然統てが一致しおるや否や」自分は此點に未だ充分の了解を有しておらない(之が自分としては更に土川氏律動遊戲が將來に於て在來の曲の内よりよきもののみが残つてゆき、更に又將來に於て研究を要すべき點であると思つておる、之は自分は幼兒の身體的研究を主としておるから律動遊戲と身體の關係のみを云つたが然し心のリズムと亦果して一致しておるや否や、之は余の圈外なれとも大

に研究を要すことと思ふ、之は一部心理研究者の話題にも登つたことである。

右様の事實は兎も角もとして、自分は土川氏自身が演ずる時にもそう思つたが、此遊戲の指導は只其善き模範を示し得たるや否やと云ふ事と今一つは動作動作の間へ氣勢を入れる言葉交へて自から幼兒に充分の動作をなさしむることであると思つた。

坪内氏の幼稚園に於て見たる處は實に其意を得ておつた。

美しい夕の會食が私の爲に行はれた、白蠟の光に照され乍ら名古屋市視學横川君と私とを圍んで幼兒の色彩に關する疑問や、粘土に付ての研究や種々の問題が話題に登つた、横川君も親切に御答になるし私も多少の愚見をのべた、蠟燭の火がパチ／＼音を立て乍ら燃えてゆく丁度クリスマス夜の様な氣分が漂ふて一室内が何となしに暖い空氣に満ちてゐた、若い人達の心に懷疑の起つて來

るのは進歩の第一階級である、其懷疑を適當に批判し解決を與へてやると云ふことが大切である、坪内氏は其都度宜しきに導てゐられるのに對し私は多大の感謝の言葉が何となしに獨り口に出た。

白蠟は時と共に立つてゆく……

時代の流れは時と共に移てゆく……

○名古屋市立第二幼稚園

園長は市立女學校長兼保育會長の岡田氏である
青山保姆長以下久野保姆の外六人が甲斐々々しく子供と共に良く遊んでゐられた。

廣い園舎と廣い庭とを有する此園の子供は幸福である。

遊戲、唱歌、手技等を見た、子供の要求と保姆の修養、研究、指導それ等の點に於て私は痛切に現代の幼稚園は今更に一考を要することと思つた。

此園の園醫である山崎氏は又熱心な兒童研究者である。願くば將來此方面の研究と實際とが充分

融解してゆかん事を。

○名古屋市立第三幼稚園

千葉保姆長は高師出身の頭腦の明確な方である。熱心な幼兒の友である中島園長と共に落付た態度で子供に接しておられた。

園舎は有名な徳川氏士族の子弟教養所であつた明倫學舎の跡である。

ボートを引き乍ら遊べる子供、ブランコに乗つてゐるもの種々に、元氣よく子供等は遊んでゐた。

園長のお話によると門前に花壇を作つて幼兒に園藝を行はしめると云ふことでした、私は實に美しいエデンの花園を想像しました。

偉人は自然によつて育てられる

○私立皇風幼稚園

朝倉園長の積年の研究に依て建設されたる皇風主義（之は私が斯ふ云ふ代名詞をここでは用ひる

ことを許してもらいたい）に依て教育されてゐる處である。

吾國體の美風を高調されつつある園長に従て工藤保姆長以下二三の保姆が一方は古事記等の研究と共に一方看護學、産婆學等の研鑽を積んでおられる様に仄聞した。

溫容美しく態度動せざる工藤氏が指揮にて一同東皇居を遙拜し、終て君ヶ代の合唱、同園特有のお誓が行はれた。

其後で遊戲や歌などがあつた。

古風な太鼓がオルガンの間に交つて響く。

一體教育者、殊に幼兒教育者には一つの堅い信念が必要であると思ふ、始祖フレイベルは非凡な哲學者でもなかつた、或は絶古の教育學者と云つ程でもなかつた、然し乍ら先生は實に美しい偉大な教育者（教育學者に非ずで）あつた、それは先生には立派な信仰があつたからである。

皇風主義、之は私は保姆の精神の確立に對する

唯一のより所であらねばならぬ、唯一の信仰でなければならぬ、一體或教育主義を建てて其主義を行ふに當つて其方法の如何と云ふ問題が實に緊要なことである、フレーベル先生の思想に於ても見らるる如く此主義と方法との關係は實に考慮を要することと思ふ。

今日の幼兒研究者は、幼兒の身心の關係から、フ先生の種々なる教育材料が批判されておると同様に吾々は一つの主義を子供に行ふ時に其方法に付て充分幼兒の身心を顧慮してもらいたいものであると思ふ。

私は皇風幼稚園に於て右の問題の如何と云ふことはとても一時や一日位の參觀では解し兼ねるが兎角一般に宗教的色彩を帯びておる教育所に於て私は時々右の様なことを感ずるのであるが私が此園に入つて突然に頭に此事が持上つて來た。

私が慕しい、私の爲には力ある友の一人である工藤氏と次の様な會話が交換された。

『今日御覽になつた處で御批評を下さい』

『私は一寸拜見した位では批判なんか仲々出來ませんが、私が一つ貴女に伺ひたい事があります』

『何でも私の知つてゐる事でしたら御答しませう』

『工藤さん貴女は、皇風主義を子供に徹底さす爲に現在取つてゐなされる方法に於て缺陷があると御考へですか、將來改良すべき點を現在御見出になつておいでですか』

『妾は子供を愛します、そして私の敬する園長は子供を教へることに付ては一任されております、私は現在に於て澤山の改良すべき點を持つております、之から段々と實行します』

『それでは私は再來の時迄之れ以下の會話は打切りませうね』 呵々々々。

胸に多大の抱負あり、頭に計畫の案件あり、手に信賴すべき力あり、然も子供を愛するの心溢ふる敬愛する友よ。再會の日を待たんのみ。

○私立皇風第二幼稚園

忘れえぬ溫情の人、子供の友である駒形保母長は私と横川視學と足立園長、坪内保母長とを快く迎て下さつたのは雪空の寒い朝であつた、暫く子供と遊んでゐる内に會衆が始まつた。

會衆の式が終つて各自に座布團を與へられた、其れは四五人の女子が主人で他の子供等をお客さんとして順次に可愛ひ挨拶が交換され乍ら奇麗に配布せられた。

それから子供のお話があつた。思出し乍ら、
いゝと出てくるお話に交つて駒形保母長は同じ子供の仲間入をして其語の不明な處をやさしく訂正しながら少しの無理もなしに純自然に行はれた終つて『皆さんお遊びなさい』と云ふや否や横川視學や私の手を取つて『先生遊びませう』と云つて實に無邪氣な天真の發露があつた。

私は幼稚園は寺子屋ではない、幼稚園は子供を

して少くとも子供の天真を害せずに純自然に生きさせてもらいたいものだと思ふ。

可愛い秋津洲の末たのもしき子等に『さよなら』と云ふ聲に送られて正午過に辭した。

私の忘れえぬ友の一人である駒形保母長の健在と折角に純自然の子である豐葦原の瑞穂の國子等の天真なる活動とを祈ります。

○佛陀會幼稚園

私の信仰の友である津田主事の下には多年大阪市立船場幼稚園で就職しておられた石田氏が保母長である、近藤保母外に名と美しい庭の美しい普通民家で美しい集團を作つたゐられます。

濟度し難き者にも功德を積しめ一切の衆生を認め佛陀が御弟子を愛せし様な心持で津田主事は朝も疾くから子供の看護をしながら遊んでゐられます。

燃ゆる様な研究心を持て一直線に進もうとして

ゐられる石田保姆長は黄ばんだ夏蜜柑や美しい大根畑のある庭で梅の花の香しい氣分に満ちて愉快に可愛い佛弟子と遊んでゐられます、此處は毎月身體検査を行はして幼兒の身體に特に注意をしておられます。

近く新築になつて保姆の家も共に園内にある幼稚園になるさうであります、多幸なる佛國會幼稚園を祝福しました。

園兒の帽子には『天上天下唯我獨尊』と叫べる幼兒の佛陀の徽章がついておる。

天上天下唯我獨尊とは只に佛陀の初生聲のみではないでせう、毎日々の子供の叫べる朝の聲は亦唯我獨尊ではなからうか。

○明星幼稚園

夜すがら降つた雪が積んで道は白一路隨分と寒
冷い朝であつた。

元氣のよい子供等はもう早くから集つて楽しい

唱歌が初まつてゐた。

此園の保姆長の市村氏は金城學校長の令夫人である、味噌の味噌臭くない様に基督教の基督教臭くない基督教の精神を中心にして教養しておられる處である。

微患に犯されてゐた市村氏は私の來訪に依り態々御登園下されて種々と御教示下されました。

此園ではむしり紙や繪具を使用しておられるなどしてゐなざるのを見て大に面白く思つた、尙同氏の御話に依ると音楽教育の一面には實に立派な名曲を聞かしてやる事が大切な事であるとの事であつたが、其謙遜なる然も愛の精神に働いてゐられる同氏の心には、止にやまれぬ研究と到れり盡せる愛撫の心がうかがはれた。

正午祈りの美しき食卓が開かれ姉弟的中食が終る頃、私の心にも一種の慰安と一種の憧憬が起つた。

○静岡市私立櫻花幼稚園

私が名古屋の講習を終つてから此静岡へ來たのは一つは江尻の龍華寺にある楞手高山林次郎先生の墓参りと更に一つの目的は此静岡櫻花幼稚園に居られる我保育界に於ける國寶とも云ふべき宇式かん先生に御眼にかかりたい爲であつた。

宇式先生は其御令嬢林叔子氏外數名の保姆及助手の方々と堂々たる私立幼稚園を卒いられ愛兒百數十名の好伴侶となつて隠れたる偉大なる事業の爲に盡されておられます。

西大阪に膳たけ先生と云ふ國の寶あり東富士の麓に亦宇式かん先生とて何れもみな三十餘年孜孜として倦まず戀々として去らず、一意専心幼兒教養に努められておられます。

私が宇式先生の御丈夫な若い氣分の溢れてゐる御顔を拜して更に一つ一つ經驗の尊き事實に付て教へられました。

宇式先生は「幼稚園の門をはいつたらもう統てが保育です」とか「保姆は母と云ふ心で家庭教育と

相待つて幼兒教育が行はねばならん」とか一つ一つの胸に大なる響を傳へる様な御話がありました、仄に承れば先生は今も尙同縣の學校にて保育講義を擔當せられてゐられとか、林氏に案内されて外遊や貼紙や遊戲や種々見せて頂きました。林氏は熱心な研究と更に尊き御母堂の經驗とに依て十二分の保育をされてゐられました。

私は雪ふる此日、愛する子供達の健全を祈ると共に専ら國の寶である宇式先生の老いて益々旺に千歳の壽を致されんとを祈り乍ら御別れをした。

○市立静岡幼稚園

私が櫻花幼稚園を去つて一寸同地附屬小學校の有名なる木劍體操を參觀に行つてゐたら、御使が静岡幼稚園からみえた、何事かと思つて參れば櫻花幼稚園の林氏及静岡幼稚園の浦野氏方々の御催しで市内保姆の多數の方が御集りでした私は吃驚して「何に私の如きものが申上るものはありません

ん」と御辭退申しましたが仲々聞き入れらるる模様もなく遂に一汽車延期して私は「保育案を作るならばかくありたし」と云ふ私の希望と更に一層若き保母達に温古知新と云ふ様な意味で先輩の尊重すべきこと、及殊更吾國保育界の國寶である宇式先生を中心に擁護し乍らその深遠切實なる實生活の經驗をお互に聞かれしことを懇願して皆様に別れを告げた。

浦野氏の温厚篤實なる、其面影をそのまゝに各保育室はしつかりと落付いたよい氣分に裝飾や器具の配置がせられてあつた。

私は浦野氏の如き方と林氏の如き方と更に之を和するに熱心燃ゆる如き天使の友等があつてこそ静岡市の保育界も隆々今日に到れるかと思ふと共に更に宇式先生によつて後見せられ堅實なる將來の發達を祈りました。

人の心の輕薄にして水の低きにつくが如く絶えず新陳代謝の流行をする今日眞の教育と云ふこと

はかくの如く移り變りの激しき處に徹底的に行はるでせうか。

私は近代の教育者の中で此様な人々の存在する一面、亦、宇式先生の如き又膳先生の如き尊き眞の教育者のあるのを思ふ時に大和民族の根強さを感ぜられずにはおられませんでした。

○不二幼稚園

静岡市に宗教幼稚園とでも云ふ様なものの中に不二幼稚園と云ふのがある。

私は時間の都合上、園は參觀するの時がありませんでしたが、若い新々氣鋭の元氣のよい然も温情の溢る保母方々に親しく御眼にかかりました。

すべての愛する天使奉仕の勇士達よ健在矣。

この項、編輯上の都合で掲載ができませんでした事お許し願います。

(編輯係)

表情遊戯

土川五郎

○蓄音機

(大正幼年唱歌第三集)

一同圓心に向く

一、箱の中から 靜かに爪先^{つまさき}にて左足より二步前

進す(上體をやゝ前に)

聲が 右手を耳後に彎曲し上體をやゝ左方前に

傾く

出る 左手を耳後に彎曲し上體をやゝ左方前に

傾く

ラツパの奥から 靜かに爪先にて左足より二步

前進す(上體をやゝ前に)

聲が出る 前に同じ

あれ／＼随分 二步退く

大きな 一步退きつゝ兩手を前方より頭上へあ

ぐ

聲よ 左足を引き付け側方より下ろす

誰が 兩手を胸前に腕ぐみをなすと同時に顔を

左方に向けがにて顔を正面に

歌つて 右方へ

居るので 左方へ

せう 兩手を下ろすと共に顔を正面にす

(一番二番は互に向き合ふもよし)

二、今度は樂隊 一同手をつなぎ靜かに四步前進

いさましい 足踏三回

びい／＼ 右手を握り口にて笛を吹く如くす

どん／＼ 兩手の食指を出し他指を握り左右交

互に太鼓を打つ如くす

いさましい 足踏をなすこと三回

太鼓や笛を 四步退く

たゝいて 太鼓をたゝく如くす

吹いて 笛を吹く如くす

何處でならして 拱手して顔を左右に向くるこ

と前の如し

あるのでせう 同じ

○木舟泥舟

一同圓心に向く

うさぎの 右足一步後へ出し兩脇を上げ兩手を肩
後に掌を下にしうさぎの耳の如くす（脇を前に
向く）

舟は 體前にて拍手一回して足を引く

木の舟 打ちたる兩手を下げ兩側より前に出し舟
の形を作る

前の 出したる手を握り左足を一步出す

方へと 右足一步前へ進むと同時に脇を後ろに引

き舟を漕ぐ

勇んで 一步前進し握れる兩手を前へ

進む 一步前進し兩脇を引く

狸の 右足を一步後に引き上體を稍前に屈す

舟は 直立す

泥舟で 兩手を前に出し舟を作り左右に一回つゝ
傾く

とろりとろり 後ろへ二歩退く

みるゝ 同じく一步退く

とける 一步退くと同時に蹲踞す

するとうさぎは うさぎにて兩手を肩に兩脇を前
に高く、掌は肩の方に向け背後に垂れる様に（兎
の耳）

つつたちあがり 兩手を前より兩側に下ろす勢に

て直立す

むつた 左足一步踏出し左手を前下方に出す時か

ひを握る如くす

かひをは 上體を稍前に屈すと同時に右手を前下

方に出しかひを握る如くす（左手の前に右手の

ある様に、兩手にてかひを握りたる如くす）

うちふりあげて 上體を起し、兩手を右上方にふ

りあぐ

おもひしつたか 右足一步強く踏み出し振り上げ

たるかひを打ち下ろす

狸どの 兩手こぶしを握り稍肩を張る如くして足を引く

そこで狸は 狸はにて左足一步前へ出し兩手を前方に出しかひを握る

かひをば 右上方に兩手を振り上ぐ

すてゝ 足を引くと共に振り上げたる兩手を前へ

投げる如く捨つ

をろく聲に 柔らかく次第／＼に體を縮めて蹲

踞す

兩手を合せ 體前方にて兩掌を合す

いのち計りは 兩手を前につき禮をなす

うさぎ うさぎ 上方を見あく

さま 直立す

○机邊より

「……宿屋の二階で見て居ると、燕が花を啣へて、飛んで來ました。それを父さんの前へ落して行きました。」

燕といふ鳥は、春先、遠い／＼空の方から、矢張父さん見たやうに、國をさして歸つて來ます。

そこには何かの大きな力があります。それであゝして同じ道を歸つて來るのでせう。その燕が父さんの前に、花を落して行つたのは、／＼で休んで行けといふことに相違ない。と左様父さんも考へました。燕は父さんに、草臥れた時は休んで行け、と教へて呉れました。

父さんは京都に二日居ました。二日目の晩に京都を立つて、それから夜汽車でお前達の方へ歸つて來ました。

草臥れた時は休んで行け。ほんとに、お前達もあの燕から教はるがいい。

（幼きものに……島崎藤村）

五月の園藝

○幼稚園の花祭り

四月末から、五月にかけては、一年中の花時で牡丹、芍薬、花菖蒲、其他躑躅でも、百合でも、世界が花に満ちる時である。

五月一日は、英國では昔からメイデー(May day)といつて、花を祝ふ習慣がある。これには、村や町で、土地での美しい少女を選んで、メークキン(May queen)にしたてる。クキノはホーンン(Horn)や、いろいろの花で作つた冠をかぶり、花や、リボンで美しく飾られる。さうして、五色のリボンを長くひいたメーポール May pole を建て、其園りで、花に埋れた多くの少女がメイダンス Maydance をして、舞ひ狂ふのである。

メーポールは毎年此日に伐つて、牡牛にひかせ

東京女高師教授

有川 ひさる

て來るので、ポールも牛も、きれいに花や、リボンで飾られる。

この習慣は米國にも傳はつて、カレーヂ等でも學生は此日には午後の課業を休んで、膝までの可愛い服に着かへ、花を手にして、子供の氣になつて、おどろ暮すさうである。

花祭りの行事は、何れの地方でも、種々の趣向で行はれて居る。米國ポートランドは、バラの國と云はれるとほり、バラが多いが、毎年バラ祭りを行ふのも其類であらう。

近來は日本にも、是等の習慣が傳はつて、教會の日曜學校では、五月に、花祭りといつて、會堂を、小供の持ち寄つた花で飾り立て、こゝで暗誦をしたり、讚美歌をうたつたりして、その祭のあとでは、飾つた花を、病院に持つていつて、氣の毒

な人々を、慰めたりする。これは又、大人からクリスマスに祝はれたお禮に、子供が大人を招待するつもりで行つてもよいでせう。

キリスト教許りでなく、佛教でも近頃は、四月八日釋尊誕生の日を花の日と唱へて、可愛い稚子がお釋迦さまに、花供養をする習はしが盛になりました。

それでゆるすならば幼稚園にも、五月頃一日、花の日をえらんで花祭りを行ふことにしたいと思ふ。

小供に夫れ夫れ、家で作つた花でも、なければ野から集めて來たのでも持ちよらせ、又朝夕みんなで丹精した學校の庭の花でもつて室の窓から、天井から、小さい卓から、めいめいのベンチまですきに飾らせる、又小供の胸にも頭にも、亦先生にも同じやうにお互に飾りあつて、ほんとうにみんなが花になつてしまつた氣分で半日をうたつたりおどつたりして過したい。

さうして花祭りの前日頃には、附近の野にでも山にでも、一同で出かけて、思ひ思ひに採集して來るのもよろしかろう。英國のメイデーには、前夜、男女は組をつくつて、森や林に出かけ、花を集めて歩き、夜の明ける頃に歸つて來る風習さへあるさうである。

幼稚園では花祭りには、先輩の姉さま兄さまを招待し、おみやげにやはり花をもつてきて貰ふこともよろしからう、小さい人々へのおみやげに、花束作る招かれた人々の心地も、亦たのしいものであらう。趣向等はだんだん當路の方々に御研究を願ひ、追々實行が出来るやうになつたらばと切に希望する。

○朝顔の栽培

朝顔は寒さに弱いものであるから、他の草花よりは遅く、大抵今月中が播き時である。朝顔には普通に見る漏斗狀の大輪咲と、花形が風鈴や、撫

子等のやうに變つた變化咲かはりざきと二種ある。變化咲かはりざきの方は一層寒さに弱いので、六月に播く人が多い。

變化咲の方は栽培が困難であるし、又小供には面白味がわからないから、無論大輪種にすべきである。特に注意したいと思ふ事は、同じ大輪種の内にも、同一の手入をして、極く大きく咲くものと、さうでないものとある故、自宅から持参させるにしても、先生から與へるにしても、せい／＼吟味して、良い種類を選びたい。種子商等から買つてはよい種類はない。素人栽培家の好意を依頼するが何よりである、菊にしても、朝顔にしても亦他の花や蔬菜にしても、種類によつて出来ばえがちがふのであるから、子供にむだ骨ををらせぬやう、仕事にはりあひをつけるためには是非種類が大切である。

土は冬の間から準備して置いたゴミ土に、凡そ等量の川砂を加へて用ふると、よく肥えてしかも排水が良い爲め、植物がしつかりして、大輪の花

をつける事が出来る。

初めは極く小形の鉢に蒔き、漸次大鉢に移して行く筈であるが、さう幾種もの鉢を買ふといふことは容易でない。それで初めから五寸鉢（口径）に少な目に土を入れ、二三粒蒔き、其中のしつかりした出来の良い苗一本を残し他を間引き去り、苗の生長につれて、不足の土を足してやるとよい。さうして此鉢のまゝ花を咲かしても、今一回、六寸鉢に移してもよい。

双葉ふたはが出て後、本葉ほんはが四五枚出た時、心芽を摘むと、この摘み口くちに近く、新しい蔓が出る。これには大抵蕾がつくが、數寸も伸びても蕾の見えぬやうなら、今一回其蔓を二三節摘むと、今度出る蔓には必ず蕾がつく。此頃になると手工で思ひひの形に支柱てを作つて建て、もよいし、又三四本の蔓を形よく垂れさせて懸崖けんがにしてもよい。

肥料は毎日一回水代りに、鶏屎か油粕かの液のよく腐つたのを稀くして、施すとよい。土がよく

乾くやうに砂を多くして置いて、これに肥料を充分に與へるとどうも出來がよいやうであるが、肥料の分量などは、小供に隨意にさせて後、花が咲いてから互に較べさせて見るのもおもしろい。

夏休暇中は、家に持たせて歸ればよいが、とかく休みを前にひかへて居るから、種子蒔はせいぜい早くし、花を少しでも早く咲かせるやうにした。それには種子の眼めといつて、種子が莢の中にある時、莢に附着する部分、即ち蠶豆そら豆で俗におはぐろといつて居る處、此部分（黒い點になつて居る）の皮を小刀で僅かに削りとり、水を吸ひ易いやうにして、これを砂にまき、硝子板を蓋ふたにして置くと、鉢内が温かいため早く發芽することが出来る。

毎日充分日光にあて、枝葉が萎れる位にして、夕刻にたつぷりと水を與へる。日があたらず、土が乾かぬと、とかく枝葉のみ繁茂して、花が小くなる、花は午前中日蔭で眺めたら、正午迄には必

ず摘み去つて、日なたに出すのである。

種子は九月にもなり花の盛りが過ぎてから結ばせればよい。花を見る間から實を着けると、これ亦花を小さくしてしまふ恐れがある。

○靜岡縣保育會總會

同會は去る四月廿七日修善寺温泉の修善寺に於て開催せらる。同寺住職丘球學氏は兼ねてより幼兒教育に多大の興味をもたれ境内にも幼稚園を設立經營され居る程なるが當日も氏自ら率先して幹旋の勞をとらる。縣下の幼稚園關係者多數會合し倉橋惣三氏の講演あり、中々の盛會なりき。

折柄新緑滴るばかりの温泉は一層この催しを愉快ならしめぬ。

各地保育界狀況

ト次第不同

この報告は餘程以前に諸方からお送り頂きましたものを、編輯上の都合で今日まで掲載が延引して居りました、従つてこの報告以後は新しい御計畫なども、もとより各方面におありの事と存じます。然るに、時おくれのものをこゝに御紹介致します事は讀者諸君にもお詫び致さればなりません、しかしこれによつて幾分でも各地の保育界狀況を窺ふ事が出来れば幸と存じます。(編者)

◎静岡市保育界

静岡櫻花幼稚園 宇式 かん

一、當市内保育會員相互の向上發展及び親睦を圖る爲め例會として年三回の會合を致して居ります又東西名士の御來園を機として臨時會を催して御高説を伺ふ様にいたして居ります。

1、最近の例會としては本年二月十五日(土曜日)私立英和幼稚園内に於て催し集りましたものは各園長及保姆二十餘名席上ポルド英和幼稚園園長の米國幼稚園近況の御話が御座いまして後雜談をかはし一同幼児の氣分になりて二三の遊びをいたして會を終りました。

2、臨時會としては本年一月二十日幸ひにも大阪より醫學士竹

村一先生名古屋保育會へ講師として御出でましの御序とて懇々御來園特に公私の幼稚園を御覽下さいましたのでその御批評を伺はんと早速臨時茶話會を開き同先生の幼児教育に關する有益な御話を伺つて現代に超越したる新思潮に浴し當保育界に取り多大の刺激となりました事は同先生に深く感謝する次第で御座います。

一、市内幼稚園保姆の有志毎週一回(凡二時間)午後三時より静岡縣静岡師範學校教諭文學士久保川平四郎先生に心理學の御講話を又毎週土曜日正午より(凡三時間)静岡縣女子師範學校教諭關口曉三郎先生に黑板畫の御指導を仰ぎその集會の都度相互に保育上につきて經驗談或は失敗談などかたりかはし又は先生方の御意見など伺ひて修養の道をはかつて居ります。

一、益々斯道の發展を圖らんが爲め小學校と相談の上大正五年より小學校と幼稚園との聯絡機關としてふたば會なるものを設け各學期毎に一回宛の會合を催して居りますさりながら昨冬は殘念にも流會となり本年は未會なるため近況を申上ぐる事は出来ませんなれど大體左の様な事項につきて打合せをいたします。

1、相互の參觀

イ、小學校よりは特に新學期前に、幼稚園よりは特に新學期になりてより。

ロ、小學校低學年の研究授業參觀後時としては批評會にも列席いたします。

2、打合會

適當の時期に於いて新入學兒童の學習狀態につきての懇談。

3、保育修了期に於ける其幼児につきての個性調査をなし之を小學校側の參考資料として提供すること。

大正年度花幼稚園修了児童調査表									
觀察事項					保育年 間	年 齡	生年 月 日	氏 名	
考 備	動 作	言 語	容 儀	性 質	年 々 月	年 々 月	年 月 日		

この、ふたば會々員は市内各小學校一、二學年主任并に受持及び幼稚園長并に保姆其他有志の者。

◎朝鮮保育界

大和田 りよう

此二三年ボツ／＼新設され追々盛に相成候事と存候へ共只今の處當府七ヶ所に候内私立六、公立一、（當庚子記念京城幼稚園）此

私立六の内三は鮮人收容他の三は内地人に候

前三の中一は御承知の京口女史主任せらるゝ京城幼稚園にて（共立の性質の様に候）東に貴族富豪幼児五十名收容に候

後の二は培花女學校梨花學堂（小學より女校まで）の附屬にて何れも西洋人（キリスト教）各十五名乃至二十名の鮮人幼児に候他の三は當府中なれど龍山と申方面に候皆（共立の性質）にて何れも四十名の收容に候

京口女史の外主任者度々交せられ共に集會研究等も時々交渉致候へ共思ふ様にまとまり不中各園々にて別々に研究に候當朝鮮園中にて未だ充分の調べは致さず候へ共公立は釜山、元山、仁川、京城、鎮南浦の五ヶ所此外一二ヶ所は候らんも地方の私立園は大凡佛教徒の寺院立にて中に元山の本願寺立平壤の淨土宗立は公立より園舎其他とも整頓致候へ共主任者に切角適任者を得たと思ふとすぐ他に轉じ又は嫁せられ候とたちまち後任者のある其間殊の外困難なりとの事に候。（以上）

◎香川縣保育界

琴平幼稚園保姆 久住 モ ト

本縣保育會は明治四十三年創始爾來毎年總會を開き關係者相互の親睦を圖ると共に各種の問題を研究討議し、時に講習會等をも開催して近年稍縣下の一般に保育界に此種の團結ある事を認めらるゝに到りし様な次第であります。

本縣下には目下公立九園私設拾園都合拾九ヶ園にて外に近々開園の運びに到る公私立も二三ある由にて小さい縣として數の上で

は先づ多い方と存じて居ります、香川縣保育會とは此大小公私設の幼稚園關係者を以て組織致して居る小團結であります。

年一回の總會位では中々思ふ様に研究討議と申譯にはまゐりません、さりとて縣下所々に散在する關係者が幾度も集ると申事も容易ではありません、夫れ故、東讃、西讃と大別して東讃は主に高松市内の八園を中心として毎月集會を開き各種の相談をする事に成つて居り、西讃は阪出、宇多津、丸龜、多度津、善通寺、觀音寺、琴平と互に汽車の便なかりて毎月交代に集り、當番の園は、日曜を繰替へ保育して實地に就て研究致して居ります。

研究と謂ひ討議と申た處で結局其園で行はなければ今の場合何の役にも立ちません、意見、抱負として徐々に改善向上せしめなければならぬは勿論ですが、さりとて「園舎でも建て替へて頂かねば私の主義の保育は行はれません」と其日々を何も彼も設備の不完全に負はせて暮す譯にもまゐりません、此點に於て本縣の保姆諸姉は誠に苦しい立場に居ります。

本縣下を參觀せられた方は、御承知でも御座いまいしよふが、拾九個の内幼稚園開設の爲として建設されたものは一二であつて然もそれは二十余年前の設計故小學校の小さい風のもので其余は總て寺院とか小學校の一部とか、普通人家に不向の何かの建物へ少し手入れをされたものとか利用されて居ります、此故に通常一般の方々が考慮研究せられる、保育上の理論の外に實地吾人は此不都合な住居取りに就ての利用配意が普大體ではありません、縣下の幼稚園の全部を理想的の設備に改造する事などは到底不可能でありますがせめて、せめて縣下に一園位は、理想の幼稚園を持ち度いものです、そして順に新設される幼稚園の標準にしたいと

のと切望致して居ります、此意味に於て、女子師範に附屬幼稚園の開設される事を鶴首して待つて居る次第であります。

右の様な状況でありますから、西讃の毎月の實地保育は是等の相談會であります、それには實際の保育を見なければ外の者では想像が付きません、分園が好い、集團が好い、いや自由選擇が、何とかと申た處で駄目であります、狭くて困つて居る所もあります又廣くて困つて居る所もあります、保姆の手が勤めて困つて居る所もあり、昨年七月倉橋先生の御渡島を煩して以來、保姆の殆どが聴講致しましたを幸ひ、互のノートを羅針盤として西讃の毎月の會合は行はれて居ります、そして島國の貧弱な會合、何等研究の機關と熱誠の指導者を持たぬ吾人はせめて、斯くの如くして一つにても過失からむ事を祈つて居ります。

◎岡山市保育界

岡山市立幼稚園 折井彌留枝

市内に於ける幼稚園數は七にして内縣立一、私立一、市立五なり、而して市立は何れも尋常小學校に附設し現在園兒數は合計九百三十名にして一園兒數多きは二百五十名より少きは百六十名までとす保姆は二十四名にして園長一名之を統一す一般に保育の効果を認むるの結果入園希望者甚だ多く毎年定員を超過すること夥しく止むなく願書に受附番號を附し身體検査を行ひ合格せし者より番號順に入園を許可し其餘は補員として願書を預り置き缺員のある毎に随時入園せしむる事と爲せり然るに入園を迫まる父兄多く現在の儘にては到底收容し能はざるより大正八年度より一園を

増加する事に決定し現に新築中なり家庭は概ね中流以上にして保育料は從來一箇月四拾錢なりしも八年度より五拾錢に増額する由なり

市内各園統一方法

左之市立幼稚園經營概要に依り之が統一を計り居れり。

目次 (内容は次回にゆづる)

一、園則

二、保育方針

三、幼稚園生活

保育事項の區分 要旨
選擇 生活に由る保育
保育の効果測定
幼兒の藥方に付

四、保姆の心得

五、事務の分掌

六、家庭との連絡

七、家庭連絡内規

如上は一般的の者にして内容の實行には各園の特徴を尊重し其の長所を助長する事につとめ居れり

現在幼兒生活に就て

保育方針に付ては體育方面に重きを置くと共に戦後の教育上より特に自治獨立共同眞面目の精神を培養せん事を期し幼兒の純自然生活中にも之れが機會を逸することなく其目的を貫徹せしめ道德品性の陶冶獨創確立の習慣を養ひ以て一層各個性に合致する保育を行はんがため特に留意して實施せる保育の一部を左に擧げん爾來行ひ來りし一濟的保育は其の成績良好ならざりしを認め可成

幼兒の自由選擇に任し各個性に相應するの指導を與へ團體の取扱ひも特別の方法を講じ普通受持幼兒數四十人なるも特に十人の團體を作り殘余の幼兒は他の組の郊外保育に加へ可及的少數範圍にて個性を調査し之に適應の觀察指導を行へり之が結果として近時園兒の發育比較的伸びしたるやの感あり室内保育の材料として種々ある内殊に興味を引起し獨創工夫の機會を與へ得る床上積木(煉瓦形の長さ三尺、二尺、一尺の積木)目下學校教室増築中に付種々變形の木片及板片等を使用せしめ各個に又共同的に自由に製作する事に務め居れり其他最も趣味ある材料として粘土製作を盛行ひ自然材料として種藝盆栽穀類の培養動物の飼育等を行ひて自然の法則に觸れしめ自然に對する愛と興味とを喚起せしむ特に身心の發達上には最も意を用ゐ現在各園相當園庭及園舎を有すれども猶一層外遊を多く利用して遊嬉せしむるの方針を取れり彼の天地は眞の天典の保育場なりとの語に従ひ或は山に登らしめ或は限界なき山野或は綠草萌出づる農園等に遊ばしめ以て彼等の活動性と好奇心を満足せしめ圓滿なる感情に導き且つは身體各部の健康を増進せしむることに務む又各園とも砂場の設備なきにあらざれど廣大なる天然的の砂場を利用せん爲め近傍の旭川礫或は竹田礫(旭川の沿岸)などに連れ行き彼等の活力の限りを盡さしめ或は井戸を掘り鐵道工事をなし「トンネル」を作り流れを通ふ高瀬舟や帆掛舟等を直接眺めては木の葉舟を作るなど思ひの儘に遊ばしめ所謂純自然生活の状態に没頭せしむる事に傾注せり。春の長閑けき期節には後樂園、東山公園、奥市公園などに連れ行き雪と散り來る櫻の下にてけんげ、たんぼい、すみれ、土筆などの摘草を行ひ秋には種々の虫追ひ殊にキリゴなどの雌雄の見分けをなし

持歸りては養虫箱に入れ餌として庭園に作りし茄子、胡瓜などを與へ食する様鳴く様などを觀察せしめ足摺り羽ばたき等の實狀を實見せしめつゝ各兒の個性を有の儘に觀察せり、かくて郊外保育に依りて自然界に觸れしむるのみならず往復途中或は建築場、水車、工場、教育館等の如き實科的觀察をなさしめ其他社會の善美なる方面に就き指導を與へ居れり、獨郊外保育の副産物としては時々他園兒と偶然會合しては互に親しみ互に馴れ合ひ遊戲なすもの、まゝこと、相撲、鬼事、物の取替せ事など實にうるはしき動作の知らずくの内に行はれ保姆の挨拶に幼兒も模倣して互に挨拶を爲し各園一家族の如くなりて互に興を盡し歸園の際互に別れな名殘惜げに歸るなど社會的生活の實習を演じ知らずく涙を催はす程のいぢらしさを感ずることもありて此天真無垢なる友情の發露を見るもの保育の効果を無視するものあらんや。

種子採集として

松の種、椎、樺、槿の實、紅葉種、檜、銀杏、かや、茶の實、其他雜草

芽生採集として

松、樺、批把、椿、紅葉、橘などを持ち歸り或は種蒔用栽用とし或は實生活の實習としては松笠、松葉など採集し歸園後此等材料にて湯を沸し或者は水を吸む或者は火を煽ぎ仕度出來れば辨當用に供するなど眞に興味を喚起する事少なからずと信ず。

集會の模様 講演 研究

一、母姉會

イ、入園當日は保護者に對する一般的心得及保育方針を話す。

りて數名宛を召集す。

ハ、家庭との連絡と實地保育の參觀をなさしむ。

二、小學校との打合會

一學年擔任の職員と會合し幼稚園に於ける幼兒取扱方の一般及び新入學後の兒童の性質偏僻等の觀察點等に就き打合をなす。

三、保姆會

本會は市立各幼稚園の進歩改良を圖り保育上の打合及研究發表（毎月一回各園巡番）をなす。

四、主任會

園務の打合

五、吉備保育會

縣下の保姆及助手并に有志者等結合にして保育に關する研究をなさんとして本會を設け左の事業を行ふ。

一、保育に關する演説

二、保育に關する講習

三、保育に關する研究

六、保育研究會

每週各園巡番にて實地保育の參觀を行ふ其他音楽、衛生、生理、心理の研究中。（以上）

◎大阪市保育界

各區保育會

大阪市保育會沿革

明治十一年二月府は木村末、氏原鑑の二名を官立東京女子師範學校附屬幼稚園に保姆見習生として上學せしめ翌年三月大阪幼稚園手引と稱するものを發布し其五月業を卒へ歸府するに及び府立幼稚園を北區常安町に創設し之を大阪府立模範幼稚園と名く之れ地方幼稚園設置の第一着なり。明治十三年六月一日東區北濱五丁目に開園、之本府幼稚園の最古幼稚園の創とす次で北區西南にも設置せらるゝに至る。

二、會創立の計劃

明治三十年七月二十日東區保育法研究會を同汎愛幼稚園に開くに當り神戸市頌榮幼稚園主幹エールハワ嬢を聘し米國幼稚園事業視察談を請ふ此時全市幼稚園保姆及び園長來會せるを機とし大阪市保育會設立の計を立つ。

三、組織及其變遷

創立當時の本會は普通大阪市幼稚園職員を以て組織し會長一名副會長一名幹事八名により諸般の事務を掌理せり明治三十八年に至り常議員を置く、市保育會の設立は各區保育會設立の動機となりたるが如し明治三十三年四月大阪府女子師範學校長大村芳樹氏會長となり爾來事業の遂行を計りしも本會と四區保育會及市當局との關係を密ならしむるの故を以て明治四十三年四月本會は大阪市四區保育會の聯合となり今に至る。

但明治四十五年四月より會長に市長を仰ぎ副會長は市學務課長及女子師範學校長を推す。

四、事業

本會創立以來既に二十星霜を閱し其間或は斯道専門家の講演に或は各種の調査に或は講習會の開催(保姆養成を含む)に或は

雜誌の發行に或は京阪神三市聯合保育會の加盟に本市保育の改善進歩に對し熱誠努力しつゝあり。

京阪神三市聯合保育會

明治三十年十一月其第一回を京都に舉行爾來毎年一回以上各地輪番に開會して斯道改良の上に相提携互に相利する處あるのみならず機關雜誌を年二回發行して之を各會員に頒つ事とせり本年二月を以て第四十二號を發刊す之が編輯は創立以來當市之を擔當す。

第二回全國幼稚園關係者大會

本年秋季當地に於て開かれんとせる大會に關しては昨年九月より其準備に着手し居れり。(以上)

○東區保育會

一、沿革

本會は明治二十七年東區教育會の一部として保育法研究會なるものを組織せられ同二十九年四月東區保育研究會と稱して獨立し後東區保育會と改稱して今日に至る。

一、組織

本會は東區公私幼稚園職員、名譽職員その他の特志者を以て組織す。

一、本會事業の概要

イ、毎年春季總會を開き會務報告、役員の改選保育の研究等なす。

ロ、例會は會員集合して保育に關する問題の討議或は研究をなし實際保育の經驗、研究等の發表をなす又名士を聘して聽講

することあり。

ハ、毎年數回講習會或は講演會を開く講演會は公開することあり。

ニ、毎月一回以上研究會を催し首席保姆會合して保育の研究或は保育事務の打合をなす。

ホ、毎年二名以上の會員を地方に出張せしめ保育事業の視察をなして報告せしむ。

ヘ、市保育會、三市聯合保育大會には會員出席して保育に関する問題の研究或は遊戲の交換等をなす。

ト、三市聯合保育雜誌は購入して會員に配布す。(以上)

本年度集會の二三

一、大正七年六月二十六日午後一時より例會開催

1、講演

談話のしかた 元高等師範學校助教授 山内 藤馬氏

2、會員相互の談話(各園より)

イ、保姆と自然との關係

ロ、幼兒の接觸點について

ハ、子だから

ニ、尋常一年の受持より見たる保育修了兒の長短

ホ、お伽噺 どぶ龜の話

ヘ、錦魚、鯉の病氣豫防法並にその療法について

3、遊戲 阪田雪時

二、講習會

1、大正七年九月十六日より向ふ五日間午後一時より約二時間

談話の理論と實際について 講師 山内 藤馬氏

2、大正七年十月より毎月二回(毎回約三時間)八年三月迄の豫定

基本的體操並に簡單なる遊戲の實習

講師 清水谷高等女學校教諭 中島 キク氏

三、講演會

1、大正八年二月十日午後一時より通俗會開催

童話と科學について 講師 巖谷 小波氏

〇西區保育會

講演會

1、大正七年四月二十五日江戸堀幼稚園に於て總集會開催の際谷本

富氏を聘し講演會を開催せり演題は兒童の道德意識に就て

講習會

2、大正七年九月十五日より拾壹月拾日に亘り(毎日午前九時より午後二時)間宛

同開催せり講師は笠原醫學博士にして科目は兒童の衛生生理

保育研究會

3、首席保姆 研究會 同開催

園長首席保姆 一回

4、植物採集

大正七年六月十六日(日曜日)宇治附近に於て植物採集を行ひ傍ら

宇治發電所を見學せり

5、雜誌の發行

二回三市聯合保育會にて發行の分を購入し會員に配付せり

6、三市聯合保育會

大正七年六月九日神戸市に於て開催の三市聯合保育會に會員七十

名出席せり

右本年度實施事業の概要

豫定事業の概要
1. 植物採集一回
2. 通俗談話會二回
3. 管外保育事業視察員派出

○北區保育會

一、創設

明治三十六年十一月本會事務所を北區役所内に設置し北區保育會と稱せり時に會員約三百名あり

二、編成

一、會員

通常會員 月金五錢

特別會員 同金拾錢

終身會員 一時金拾圓以上を納むる者

名譽會員 本會に於て特に功勞ありと認めたる者

二、役員

會長一名 副會長一名 評議員十五名 幹事三名 常務幹事一名

收入役一名

三、事業

一、總集會

毎年二回之を開き會務の報告演說討論議事等を行ふ但必要に

應じ臨時總集會を開くことあり

一、臨時會

臨時有志會員會合して保育に關する討論をなし又は講習會等を開く

一、評議員會及幹事會

必要に應じ隨時之を開く

附則

本會は他の三區保育會と聯合し大阪市保育會を組織せり

四、最近の概況

一、大正七年度會員數

終身會員六人 特別會員貳百九十六人

通常會員七百八人(教育者の外幼兒の母姉多數を占む)

計一千十人

一、大正七年五月二十二日評議員會開會

一、同六月八日堀川校内に總集會開會

一、同六月十七日堂島園内に評議員會開會同時に市保育會常議員會を開く

一、同六月二十八日下福島園に通俗保育講演會を開く

一、同七月十一日堂島園内に通俗保育講演會を開く

講師 竹村一氏

一、同七月十九日より同二十三日迄五日間堂島小學校に於て(幼稚園教育に關する諸問題)講習會を開く

講師 大阪市醫 三田谷啓氏

一、同七月二十二日菅南校内に通俗保育講演會を開く

講師 倉橋惣三氏

一、同十月十二日堂島園内に評議員會を開く

講師 倉橋惣三氏

一、同十月二十五日堀川園所屬會員運動會を箕面に開く

一、同日下午福島園同

住吉

住吉

- 一、同十一月三日菅南園同
- 一、同十一月中に於て東京 廣島 京都 三市の保育事業視察の爲保姆二名宛に出張を囑託す
- 一、大正八年一月十八日中之島園は運動會を兼ね通俗保育講演會を同園内に開く

講師 市視學 山口正氏

- 一、同二月十一日堂島園所屬會員の運動會に代る子供會を開く

講師 巖谷小波氏

- 一、同三月中に安治川園所屬會員の爲に運動會及同園に於て通俗講演會開催の豫定 以上

◎名古屋保育界

名古屋保育會

由來當地方は凡ての點に於て因循姑息打算的なるは有名なることに有之候我保育界に於ても其數に漏れず保姆が其職務に興味を有し責任を感じて從來するもの實に曉天の星の如き有様に有之候處漸く近來に至り公私立園保育會の合同を成立せしより活氣を呈し來り各自自覺して職務に忠實ならんとするの曙光を示し來りしは誠に慶賀すべきことと存申候尙今後一層會の發展を計り集會に講演に研究に益々斯界の爲めにと相互に努力致居候左に名古屋保育會の事業としての已往集會を記載し御一覽に供し申候

第一回研究會

時日 大正七年十二月六日午後一時より

場所 名古屋市立第一高等女學校松操館

講師 愛知縣第一師範學校教諭文學士山橋氏

演題 幼稚園作業の具體化其他

第一回講習會

時日 大正八年一月十五日より十七日迄三日間各午後一時より

場所 同前

講師 大阪府廳衛生主事補醫學士竹村一氏

演題 幼兒の身體并其検査法

第二回研究會

時日 大正八年二月七日午後二時より

場所 同前

實驗談 各園一名の代表者によりて

井批評

其他新年會を開き會員相互の親睦を計り候

名古屋保育會規則

第一條 本會ハ幼兒保育上ノ研究及改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ名古屋保育會ト稱シ事務所ヲ當分市立第一高等女學校内ニ置ク

第三條 本會ハ名古屋市内幼稚園々長及保姆ヲ以テ組織ス但本會ノ目的ヲ達成シ入會ヲ希望セラルル有志者ハ之ヲ賛助會員トス

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置キ諸般ノ事務ヲ處理セシム

會長 一名

理事 二名

幹事 若干名

第五條 役員ノ任務左ノ如シ

會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理シ議事アルトキハ議長ノ任ヲ掌ルモノトス

會長ハ臨時書記ヲ雇入ルルコトヲ得

理事ハ庶務會計其他ノ會務ヲ分掌ス

幹事ハ本會ノ經濟及重要事務ニ付商議チナス

第六條 役員ノ選舉及任期左ノ如シ

會長ハ總會ニ於テ公選ス

理事ハ會長之ヲ選定ス

幹事ハ各園ニ於テ一名宛選出ス

役員ノ任期ハ二ヶ年トス

第七條 本會ノ目的ヲ達セン爲メノ事業ヲ行フ

一、總會 毎年五月上旬

一、講演會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、講習會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、示究會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、其他保育ニ關スル必要事項

第八條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ヶ月金貳拾錢ヲ釀出スルモノトス

贊助會員ハ每年金壹圓以上ヲ釀出スルモノトス

本會ノ事業ニシテ特ニ經費ヲ要スル場合ニハ其都度釀出ノ方法

ヲ定ムルコトトス

以上

名古屋保育會內規

一、役員組織ニ就テ

理事ヲ庶務部會計部ニ分ツ

一、庶務部ハ會ノ一般庶務及研究會、講習會、講演會等ノ事業ニ關スル事務ヲ取扱フ(本期間第一幼稚園長)

二、會計部ハ會員名簿ヲ作り置き毎月ノ會費ヲ徵收シ之ヲ郵便貯金トシ經費出納簿ヲ作り置き收入支出ヲ明カニシ毎年總會ニ收支ノ決算報告ヲナスコト(本期間市立第三幼稚園長)

二、會費徵收方法

會費徵收ハ大正七年十二月ヨリスルコト、毎月ノ徵收ハ各園ノ

幹事ニ於テ其園毎ニ取纏メ毎月十日迄ニ會計部ニ送ルコト

各園幹事ハ毎月十日迄ニ其園ノ會員ヨリ會費ヲ徵收シ之ヲ取纏

メテ會計部ニ送ルコト

三、保育會事業ニ就テ

毎年五回(四月、七月、十月、十二月、二月)第一金曜日午後一

時ヨリ研究會ヲ開クコト但シ四月ニ限リ第四金曜日ニ開會トス

場所ハ當分市立第一高等女學校

方法ハ保育ニ關スル諸問題ノ研究及調査、大家ノ意見ヲ聽キ若

クハ會員交互ノ實驗談等ヲ述フルコト

特別研究トシテ毎月一回一定ノ講師ニヨリテ講習ヲ受クルコト

(連續的)會費ハ別途支出ニシテ一ヶ月參拾錢

幼稚園教育學講義

——神戸に於ける講演——

文學博士 谷 本 富 述

第二章 スタンレーホール氏の

の意見

前回には幼稚園を寧ろ幼兒の保護機關であると云ふ上から見てお話した。即ち幼稚園を、社會、立義、的に見やうと云ふので、それは一つの新しい看方であり、從來のフロエベル派には太だ乏しい所である。

それはそれとして又幼稚園を、兒童學的に観ることは最肝要で、此の點でもフロエベルのは哲學的、神學的に偏して居ると謂ふを免れない。畢竟當時はまだ生物學や心理學、兒童學が十分に發達して居なかつたから、それ等の學に根據のないのは無理ならぬことであるが、然しそれにてはフロエベ

ルのいつた事が今の學問に當てはまつて居るのは豪い。

そこで今日の幼稚園は兒童學に依らねばならぬとするが、所謂兒童學とはベエドロジと稱し、兒童の身體及び精神を研究する學で、これを基礎にしなければならぬ。要するに今日以後に於ける幼稚園はといへば一、ソマトロジを本位にすること。二、サイコロジを本位にすることが肝腎である。然しなからこれ等の學を研究するに當て單に小兒丈のことを研究したのではいけぬ。同時に凡ての生物を研究せねばならぬ。それは發生學的に研究せねばならぬ事で、これが即ち又進化論の研究となるのである。

蓋し廿世紀の幼稚園論は社會主義と進化論の上

に基くべきである。従つてフロエベルは幼稚園の元祖ではあるが、其の外に幼稚園の發達の爲めに大に力のあつた人がある。其の人々を今三人舉げる。それは米國の Kerkpatrick といふ有名な人の説であるが、その人の云つた三恩人は即ち英國のダルウキン獨逸のプライエール、米國のスタンレーホルの三氏のことである。

Darwin 氏(1809—1882) 人間及動物に於ける情緒發現論を著はし Preyer (1841—1897) は兒童の精神を著した。而して Stanley Hall は現に米國クラーク大學の總長で有名なるベタゴヂカルセミナリーと云ふ雜誌の主幹者である。

青年に關する大小二種の名著があるが小の方は youth(1908) で我國では同志社教授の和田文學士の翻譯に依つて『青年期の心理及教育』と題して大に行はれて居る、然かも又それは兒童少年の研究にも第一の參考書である。

尤も此の外に夫の就學時の兒童の心的内容を調

査したのもスタンレー、ホール氏で、それは別書があるが、米國人 McKeever は近著の Outlines of Child Study (1915) の末に色々參考書を三通りに分けて掲げ、而してその第一は右の youth を推すとしてある。然らば幼稚園の事を研究せんとする者は勿論フロエベルの『人類の教育』を讀まねばならないが、その前にルソーの『エミール』を讀み、又その次にスタンレーホルの書を讀まんことを勧める。和田文學士の翻譯は頗る上出來で、近く再版せらるゝさうな。

尙ほ兒童研究の參考書には英人の Daumhold のものなども近頃翻譯された様だが、アレは自分は早く大學でも紹介したが、餘り良い本とは考へなんだ。それよりも最近に同夫人の著はされた The Dawn of Mind (1918) の方が遙に良い様だ。同夫人は書中に兒童研究の恩人として Binet 女史これは米人で親族の一兒の發達を丁寧觀察記録した人 Preyer これは獨逸人で自家の子供を一層丁寧

に記録したもの、而して最後に英人 Sully の書物も亦父の立場から書かれて居る (The Child Study) が自分も今度此等の諸先輩に倣つて姉妹の兩兒に就いて研究し、その結果此の本が出来た。

その中の一節に、これまでの心理學者は、視覺的心象は頗る早くからある様に言つて居る。然かも自分の研究した所では視覺的心象は案外遅く發達する様に見受ける。故に子供に手本を見せて書かすのはだめである。各國今日往々六才前に子供によむことを教へてよいといふ議論があるが、然し四、五六才の幼兒は手本を見せることは不適當である。云々

スタンレーホール氏には又別に『教育上の諸問題』Educational Problems (1911) といふ名著がありその中に幸に幼稚園の教育といふことが細かく書いてある。

第一、フロエベルの功勞を贊嘆して九ヶ條の點が擧げてある。第二、現在の幼稚園の欠點—これ

は四ヶ條。第三、改良意見—これは七ヶ條ある。右を一々説明して見ると次の様である。先づロエベル氏より始めて見る。

一、フ氏は生物學や發生學を知らないに拘らず所謂反復説の考を持つたことが偉い。

反復説とは一代の間に子が人種の歴史を繰り返す、そして子供にならぬ前胎内では下等動物のことをくりかへすといふことを説いたものである。

二、普通の心理學者は知力が意志に重きを置くがそれ等は後に發達するもので、初めは感覺である。この感ずるといふことが基である。色々の本能が基であるといつて居る。これを早く知つたといふ點に於てフロエベルはゑらい。

三、自動といふことを主張したのは現代の新しい考と同一である。興味と云ふことになるがこれが心の泉であつて、それが遊戲である。これがフロエベルの卓見である。

四、フロエベルは一元論である。萬有神教の汎神論的である。これが幼稚園で我も人も神の榮の中に働くといふ意味に於てデモクラシーであるべき筈である。

五、人間の天性は非常に根深く蔓るものである、夫を人間わざで左右することの出来ると思ふのは間違であるから、教育は天性を開發するものであると謂つた。

六、子供は決して青年に成るの準備ではない。各段は各段の固有の價值を持つ。即ち各段毎にルジメンタリー即野蠻人、動物時代の残りの藪である。此の性質を適當に發揮するのがよい。乃ち人を束縛せずして我々の周圍に三つのことがある様にし、調和、自由、ハ、親愛この三つを我々の周圍の空氣にすること。が肝要だとした。

七、一切を舉げて兒童と共に生活せよ。我々はたい松の持ち手である、子供に全力を注

ぐべし、一國一社會の隆盛は子供にあるとは卓見である。

八、直感によつて知るのであるから、繁多なる手數を要せぬ、分拆もいらぬ、たい子供に直感させよ。

九、子供の健康が大切である、草木の如く日光にあてるがよい、それが眞のキンダーガルテンである。

以上フロエベルに就いての九ヶ條である氏の偉大な點である。

然かも現在の幼稚園の缺點は又色々あることを免れない。

一、今の幼稚園には母のする様な遊戲が多過ぎる(飯事、洗濯等)

二、恩物に信賴し過ぎる。符牒を先きにして實物を後にする。

三、幼稚園で圖畫を書かすのにあべこべの仕方になして居る。その譯は子供は始めから具つた畫

を書いて見るのが好きであるのに、無理に無意味な曲線や直線をかゝして見る。

四、傳染病の注意が田舎の幼稚園などでは行き届いて居ない。

斯く言つて其次ぎにホール氏自身の改良意見を云ふて見ると以下の様なことである。總論、幼稚園が教育の場所でなくて兒童の保護機關であるといふ意味に於て幼稚園の保姆はほんとうの保姆であつて教師ではない。そして學者は禁物であつて母であつてほしい。此の意味に於て既婚の人が適して居る。若し詳細の點を擧ぐれば、

一、兒童を強健にすること。

全身併に各部分を運動することが肝要である故に、ダンスをさせたり、球投をさせることは最もよい。又縄とび、たこあげなどもよい。

二、人形は必要で道具類も多いが好い。又花卉よりも動物の興味が先きである。

三、言語の練習をする。

外國語を教へること、國語を正しく話す様に注意すること、それにはまづ先生の言葉に注意すること。

四、話の種類を多くすること。

即ち、童話、神話、動物の話、旅行談、冒險談などの如きもの。

五、音楽が主である、同氏はヴァイオリンを賛成する。而して兒童に良い音楽を聴かすことと、歌と身體とを連絡して動かすといふことが必要である。この事は十年前に獨逸のワイマルで議決された。

六、種々の木材や石材などを多く備へて置いてその利用の途を工夫させ、且つこれによりて建築術上の智識を得させること。

七、室内保育を避けること。

室内で保育するから健康上に悪いのである、元來雪といふもの程健康を増すものはないから、雪後の屋外の運動は最もよいのである。

日本幼稚園協會役員

會長

湯原元一

主幹

倉橋惣三

幹事 (イロハ順)

井村くに 池田トヨ(會計)坂内ミツ(庶務)和田實和田くら

土川五郎 奈良山梅 小向きみ 小高つや(編輯)及川ふみ

評議員 (イロハ順)

乙竹岩造 吉田熊次 田中ふさ 野口幽香 安井哲

横山榮次 藤井利譽 下田次郎 日田權一

地方委員 (イロハ順)

折井彌留枝 大和田りよう 坪内きく 宇式かん 久住モト

坂井ふで 司馬のぶ 望月くに 膳たけ

加盟保育會

東京市保育會 京都保育會 大阪市保育會 神戸市保育會 靜岡縣保育會
名古屋保育會 香川縣保育會 福島縣保育會 吉備保育會

幼稚園用品製造販賣

東京九段

フ レ ー ベ ル 館

電話番町二九〇九
振替東京一九六四〇

主 要 販 賣 品 目 録

- フレーベル式恩物.....
- フレーベル式製作用品.....
- モンテッソーリの感覺教育用具.....
- 弊館特製々作用品.....
- 感官機能練習用品.....
- 模倣遊戲用品.....
- 一、人形類.....
- 一、マ、ゴト用具.....
- 一、洋食用具.....
- 一、家具類.....
- 一、樂隊用具.....
- 一、交通機關遊び用具.....
- 一、兵隊遊び用具.....
- 一、お伽遊び用具.....
- 砂場用具.....
- 運動用具.....
- 一、共同運動用具.....
- 一、數人共同運動用具.....
- 一、個人運動用具.....
- 標本類.....
- 書籍繪畫類.....
- 表簿類.....
- 裝飾用品.....
- 設備用品.....
- 標準玩具.....

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)

幼兒教育 第十九卷第五號 大正八年四月廿八日納本 廣

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場